

授業科目

高次脳機能学演習

| | | | | |
|---------------------------|------|-----------------|-------|--------------|
| 担当教員名 山岸 達弥、今村 徹、佐藤 克郎 | 対象学年 | 1・2 | 対象学科 | 保健学（言語聴覚学分野） |
| | 開講時期 | 後期（1学年）・前期（2学年） | 必修・選択 | 選択 |
| | 単位数 | 4 | 時間数 | 60 |

授業の概要

記憶、注意、遂行機能、言語などの認知機能とその障害を理解する。

授業の目的

記憶、注意、遂行機能、言語などの認知機能とその障害を理解し、障害の当事者と家族を支援することができる。

学習目標

- 1) 認知機能障害とその機序を評価することができる。
- 2) 正常な認知機能とその障害を分析、解明することで、障害の理解と支援に寄与することができる。
- 3) 認知機能障害の診断、評価、治療と当事者・家族への支援を体系的に行うことができる。

授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | 学習方法・学習課題・備考 |
|------|--|---------------------------------------|
| 1-30 | 症例検討会をとおして対象疾患と障害、当事者とその家族への支援についての理解を深める。 | 定期開催されるカンファランス方式の症例検討会で、症例提示や司会を担当する。 |

使用図書

| 使用図書 | 書名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 | 価格 | その他 |
|--------|----------------------|------------------|------|-----------|--------------|-----|
| 教科書 | | | | | | |
| 参考書 | 事例でみる神経心理学的リハビリテーション | 鎌倉矩子、山崎せつ子他 訳 | 三輪書店 | 2003 年 | 5,600円+ 税 | |
| その他の資料 | | | | | | |

評価方法

症例検討会等での活動を評価する

履修上の留意点

具体的な演習内容については担当教員に直接問い合わせること

オフィスアワー・連絡先

担当教員に直接問い合わせること